

次の間に答えよ.

1. 実数 $a_1, a_2, x_1, x_2, y_1, y_2$ が

$$\begin{aligned} 0 < a_1 &\leq a_2 \\ a_1 x_1 &\leq a_1 y_1 \\ a_1 x_1 + a_2 x_2 &\leq a_1 y_1 + a_2 y_2 \end{aligned}$$

をみたすとしている. このとき $x_1 + x_2 \leq y_1 + y_2$ であることを証明せよ.

2. n を 2 以上の整数とし, $3n$ 個の実数 $a_1, a_2, \dots, a_n, x_1, x_2, \dots, x_n, y_1, y_2, \dots, y_n$ が

$$0 < a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n$$

および n 個の不等式

$$\sum_{i=1}^j a_i x_i \leq \sum_{i=1}^j a_i y_i \quad (j = 1, 2, \dots, n)$$

をみたしているならば,

$$\sum_{i=1}^n x_i \leq \sum_{i=1}^n y_i$$

であることを証明せよ.

[解]

問題の構成として, (1) は (2) の $n = 2$ の時を証明する問題になっている. そこで, (2) を数学的帰納法により証明すれば (1) が含まれていることになるため, いきなり (2) を考える.

各不等式に式番号を与える.

$$0 < a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n \quad (1)$$

$$A_j : \sum_{i=1}^j a_i x_i \leq \sum_{i=1}^j a_i y_i \quad (j = 1, 2, \dots, n) \quad (2)$$

$$\sum_{i=1}^n x_i \leq \sum_{i=1}^n y_i \quad (3)$$

0.1 $n = 2$ のとき

まず, A_1 は

$$a_1 x_1 \leq a_1 y_1$$

であり, eq. (1) より $a_1 > 0$ だから両辺 a_1 で割って

$$x_1 \leq y_1 \quad (4)$$

である.

A_2 は

$$a_1 x_1 + a_2 x_2 \leq a_1 y_1 + a_2 y_2$$

であり, まず a_1 と a_2 についてこの不等式を整理すると

$$a_2 (x_2 - y_2) \leq a_1 (y_1 - x_1) \quad (5)$$

である. さらに, eq. (1) より $0 < a_1 \leq a_2$ だから, 右側の不等式はさらに上から評価すると

$$a_1 (y_1 - x_1) \leq a_2 (y_1 - x_1) \quad (6)$$

ただし, eq. (4) より $y_1 - x_1 \geq 0$ であることを用いた. 以上 eqs. (5) and (6) から

$$a_2 (x_2 - y_2) \leq a_2 (y_1 - x_1)$$

である. 両辺 $a_2 > 0$ で割って

$$\begin{aligned} x_2 - y_2 &\leq y_1 - x_1 \\ \therefore x_1 + x_2 &\leq y_1 + y_2 \end{aligned}$$

であり, これは eq. (3) であるから $n = 2$ のとき eq. (3) は成り立つ. ((1) の証明) \dots (答)

0.2 $n \leq k (k \in \mathbb{N} \geq 2)$ での成立を仮定

eqs. (1) and (2) を仮定する. $A_j (j = 3, 4, \dots, k+1)$ について, $n = 2$ の時と同じく

$$\begin{aligned} a_2(x_2 - y_2) + \sum_{i=3}^j a_i x_i &\leq a_1(y_1 - x_1) + \sum_{i=3}^j a_i y_i \\ a_1(y_1 - x_1) + \sum_{i=3}^j a_i y_i &\leq a_2(y_1 - x_1) + \sum_{i=3}^j a_i y_i \end{aligned}$$

が成り立つ. 従って

$$a_2(x_2 - y_2) + \sum_{i=3}^j a_i x_i \leq a_2(y_1 - x_1) + \sum_{i=3}^j a_i y_i \quad (7)$$

である.

ここで新しい数列 $\{a'_i\}, \{X_i\}, \{Y_i\}$ を

$$\begin{cases} a'_i = a_{i+1} & (i = 1, 2, \dots, k) \\ X_1 = x_2 - y_2, X_i = x_{i+1} & (i = 2, 3, \dots, k) \\ Y_1 = y_1 - x_1, Y_i = y_{i+1} & (i = 2, 3, \dots, k) \end{cases} \quad (8)$$

と定めると, a_i が eq. (1) を満たすから a'_i は

$$0 < a'_1 \leq a'_2 \leq \dots \leq a'_k \quad (9)$$

を満たす. さらに, eq. (7) より

$$\begin{aligned} a'_1 X_1 + \sum_{i=2}^{j-1} a'_i X_i &\leq a'_1 Y_1 + \sum_{i=2}^{j-1} a'_i Y_i \\ \sum_{i=1}^{j-1} a'_i X_i &\leq \sum_{i=1}^{j-1} a'_i Y_i \end{aligned} \quad (10)$$

である. 以上 eqs. (9) and (10) から, 数列 $\{a'_i\}, \{X_i\}, \{Y_i\}$ は eqs. (1) and (2) を満たしている. これと帰納法の仮定より, $\{X_i\}, \{Y_i\}$ に対して eq. (3) が成り立つ.

$$\sum_{i=1}^k X_i \leq \sum_{i=1}^k Y_i$$

ここに eq. (8) を代入して元の x_i, y_i の式に戻すと

$$\begin{aligned} (x_2 - y_2) + \sum_{i=2}^{k+1} x_i &\leq (y_1 - x_1) + \sum_{i=2}^{k+1} y_i \\ \iff \sum_{i=1}^{k+1} x_i &\leq \sum_{i=1}^{k+1} y_i \end{aligned}$$

となり, 数列 $\{x_i\}, \{y_i\}$ は $n = k+1$ に対して eq. (3) を満たす. よって, $n = k+1$ でも題意は成立する.

以上から, 数学的帰納法により任意の $n \in \mathbb{N} \geq 2$ に対し \diamond は成立する. よって題意は示された. \dots (答)

[解説]